

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばの教室ことは3号館			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 27日 ~ 令和7年 2月 28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 27日 ~ 令和7年 2月 17日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職以外にも保育士や社会福祉士、児童指導員など様々な視点から療育出来る環境にある事です。	ミーティングなどを通して、いろんな視点での療育や支援方法を共有しています。	情報交換会を通して、ことはグループ（法人内に修正）で研修や困り感等を共有し、改善に繋げています。
2	各部屋が1.2階とあり部屋ごとの活動が分けられることは強みだと思います。	活動によって部屋を分けてるので、各々に合わせた療育環境を設定しています。 1階が粗大・運動コーナー、2階が訓練、静かな遊びコーナーです。	小集団での活動や他児交流の環境も出来るように玩具を年齢別に分けて遊べるようにしていこうと思います。
3	職員が多く、こども達一人ひとりへ手厚く対応できるところが強みだと思います。	児童ひとり一人に合わせた支援が出来るように、支援方法の共通認識、理解、ルールを決めて活動しています。	こども同士のコミュニケーション、社会性を向上させていくように一人ひとりを大切にしつつ、他児交流を意識した関わりも今後行っていけるように取り組んでいこうと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の構造上、小集団で身体を動かす活動に工夫が必要です。	建物の構造上、1軒家の為物の配置や環境設定が必要がと思います。	園外活動を多く取り入れることで思いっきり身体を動かし、楽しみながら療育ができる様に心がけています。
2	研修時間の確保が難しい現状があります。	定期的に法人内にて情報交換会や勉強会を行っていますが、法人外の研修に参加する機会が少ないです。	重要な研修があった際には受講希望者を募って受講する様にしています。また、職員が自ら受講したい研修があった際には申込を行い受講後には法人内にて共有し研鑽に努めたいと思います。
3	管理者や児童発達支援管理責任者が行っている事業所での取り組みや実施していることの共有不足があります。	児童のことについてのミーティングが多いので、それ以外の内容も共有していく必要があると思います。	日々の終礼にて口頭での情報共有を行う他、共有ノートを作成する事で漏れることなく共有できる様にしていきます。